



CHIBA  
UNIVERSITY

ちばだい

プレス

千葉大学広報誌



特集 平成28年 春

# 徳久剛史学長 インタビュー

35  
vol. 2016 MARCH

特集

留学を経験した先輩の声

特集

千葉大学でアクティブに学ぼう!

千葉大学にとって、平成28年度は大きな変化の年になると考えています。そのキーワードとなるのが、グローバル化と大学としての経営力です。

### 国際教養学部と6チーム制で グローバル化を推進

グローバル化という点では、国際教養学部の新設が大きなトピックとして挙げられます。国際教養学部は、単に新しい学部を設置するだけではなく、全学的なパイロット学部としての役割も担っています。これまでも留学制度や外国語学修カリキュラムなどの仕組みを整えてきましたが、本年度は、こうした仕組みを本格的に実践に活かしていくこととなります。

そしてグローバル化の実践を支えるもう一つの新たな仕組みが6チーム制です。これまでの大学の学期編成は、前後期の2チームが一般的でしたが、多くの大学で4チームからなるクォーター制の導入が進んでいます。千葉大学でもクォーター制を検討してきましたが、海外留学の便宜を考え、夏季休暇と春季休暇を各1チームとして加えた6チーム制を導入することになりました。これは、他大学にはない独自の試みです。

6チーム制のメリットは、学生が自分のカリキュラムを組み合わせる自由度が高まることです。特に海外留学を考えている学生にとっては、留学時期や形態の選択肢が広がるものと期待しています。

### 千葉大学の経営力を 強化する取り組み

経営力という面では、国立大学を巡る状況に目を向ける必要があります。全国の国立大学は、平成16年度の法人化以降、6年ごとに文部科学省が定める中期目標に沿って大学運営を行ってきました。平成28年度は第3期中期目標のスタートの年となります。特に大きな変化と言えるのは、国立大学が機能別に3グループ

に分かれることです。各グループの重点目標は、第1群が地域活性化、第2群が特定分野の研究、第3群が世界最高水準の教育研究となつていますが、千葉大学は第3群に入りました。運営費交付金の配分もこの第3群での成果で決まってくるので、まさに大学としての研究・教育が経営に直結してきます。

こうした流れを受け、千葉大学ではいくつかの新しい取り組みを行っています。たとえば、グローバルプロミネント研究基幹という組織をつくり、6つの先進的な重点研究領域を定めました（千葉大学ウェブサイト <http://www.chiba-u.ac.jp/research/>参照）。千葉大学がこれまで行ってきた多様な研究を融合させ、効率的により大きな成果を上げるための取り組みとして、今後力を入れていくことになるでしょう。

法人化されたとはいえ、大学は一般的な企業とは違います。あくまで人材育成や学問の発展・継承といった面で独自の経営力を強化していくのが、平成28年度以降の千葉大学の大きなミッションになると考えています。

### 新しい千葉大学へ！ 千葉大生のポテンシャルに期待

現在、千葉大学では「トリプルピークチャレンジ」という考え方で学部構成を捉えています。国際教養学部を含めた10の学部を、生命科学系、理工系、文系の3系統と考え、それぞれが連携することで、大学としての魅力を高めていくというものです。

そして、その成果は着実に上がっています。全国の博士課程の学生の中から毎年10数名しか選ばれない日本学術振興会育志賞を、昨年は生命科学系、今年は理工系の学生が受賞しました。また、文部科学省の官民協働海外留学支援制度「トビタテ！留学JAPAN」に参加した工学部の学生が、留学中にシリコンバレーで起業し、帰国後の成果報告会で最優秀賞を受けました。

千葉大生にはおとなしいというイメージがありますが、秘めているポテンシャルは高いと感じています。皆さんは、それぞれが自分自身にしかない才能を秘めています。その才能を見つけ出し、伸ばすように努力して、かつ上手に表現することを学修することで、アクティブな新しい千葉大学ブランドを築いていきましょう。

## 学生の皆さんの活躍から生まれる 新しい千葉大学ブランドを育てていきたい

第10番目の学部として誕生する国際教養学部や大学運営の経営力強化など、  
新年度のスタートにあたって、抱負や課題について  
徳久剛史学長にお話をうかがいました。

平成28年春

# 徳久剛史学長 インタビュー

## 徳久剛史 (とくひさ・たけし)

|                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 経歴                   |                   |
| 昭和48年3月23日           | 千葉大学医学部卒業         |
| 昭和55年9月16日           | 千葉大学医学部 助手        |
| 昭和62年3月16日           | 神戸大学医学部 教授        |
| 平成5年4月1日             | 千葉大学医学部 教授        |
| 平成23年4月1日            | 千葉大学理事(研究・国際担当)   |
| 平成26年4月1日            | 千葉大学長             |
| 学位                   |                   |
| 医学博士                 | (千葉大学 昭和55年3月25日) |
| 専門分野                 |                   |
| 免疫学、アレルギー学、腫瘍学、分子生物学 |                   |
| 座右の銘                 |                   |
| 諸行無常                 |                   |



# 留学を経験した先輩の声

千葉大学にはグローバル人材を育成するための多様なプログラムがあり、すでに数多くの学生が利用し、自分の学びに活かしています。ここでは各種プログラムに参加した学生の声を紹介します。

留学へのアドバイス!  
ためらっているとすれば、その理由は何ですか? その理由と、留学したいという気持ちとを天秤にかけてみてください。後々振り返ってみて、後悔しない選択をしてほしいと思います。



## 海外派遣留学プログラム

教育学部小学校教員養成課程小学校英語科

### 五喜田 絵理 さん

留学先 アルバータ大学 (カナダ)

留学期間 学部3年生の9月~4年生の4月まで

#### Q1 なぜその大学を選んだか?

カナダには移民が多く存在し、彼らに対する言語教育に興味がありました。アルバータ大学では、第二言語習得の研究が盛んであり、いずれ英語教師になる者としてきちんと勉強しておきたいと思い、この大学を志望しました。

#### Q2 どのような授業を受けたか?

専門分野の授業(第二言語習得理論、英語科教授法等)と自分の興味のある授業を半分ずつ受けました。アルバータ大学には、多様な背景を持つ学生が多いため、彼らと授業を受けたことは貴重な経験になりました。

#### Q3 留学を通して一番の収穫は?

語学力以上に、精神面において大きく成長したことが、私にとっての一番の収穫だと思っています。そのことは、帰国してから身に染みて感じるようになりました。

#### Q4 困難をどのように乗り越えたか、印象深いエピソードは?

住むと決まっていた寮を直前に変更されたり、空港で荷物を紛失されたりと、数え切れないほどトラブルはありました。しかし、外国で生活するのにトラブルが発生しない訳がないのです。冷静に、ポジティブに、一つひとつ対処していきました。また、時には誰かに頼るといことも大切だと思います。

## グローバル・フィールド・ワーク (BOOT)

工学部都市環境システム学科

### 布施 達矢 さん

留学先 マヒドン大学 (タイ)

留学期間 学部2年生夏季休暇中の2週間

#### Q1 なぜその大学を選んだか?

欧米圏に留学に行くのは金銭的に厳しかったので、比較的lowで行ける東南アジアのプログラムを選びました。アジアでトップレベルの大学なので英語を学ぶには十分だと思いました。

#### Q2 どのような授業を受けたか?

英語の授業が中心でしたが、その他にもタイ語やタイの文化講義、さらにはタイダンスやボクシングの文化体験クラスも受けました。言葉から文化まで幅広いことを学んだので毎日がとても刺激に溢れていました。

#### Q3 留学を通して一番の収穫は?

マヒドン大学のTA\*たちとの出会いです。彼らとの会話は、英語でのコミュニケーションを実践する良い機会になり、とても勉強になりました。2週間の留学期間中、一緒にご飯を食べたり宿題を手伝ってもらったりして強い絆ができました。空港での別れがとてもつらかったです。

#### Q4 困難をどのように乗り越えたか、印象深いエピソードは?

印象的だったのは、プログラム終盤のプレゼンテーション準備で、夜遅くまでマヒドン大学のTAと一緒にスライド作りを頑張ったことです。慣れない英語でのプレゼンだったため、うまくいかない部分もありましたが良い経験でした。

\*TA: Teaching Assistant. 授業の補助などを担当する。



#### 留学へのアドバイス!

2週間くらいの短期留学なら、気持ち的にも金銭的にもチャレンジしやすいと思います。僕も最初は迷いましたが、行って本当に良かったと思います。迷っているなら行ってみましょう! 世界が広がりますよ!

## グローバル・スタディ・プログラム (GSP)

工学部都市環境システム学科

### 田邊 諒士 さん (4年次履修)

開催地 フィンランド

相手校 セイナヨキ応用科学大学

自分の意見を言わずにディスカッション、協働学習することは不可能であり、自身の意欲を示すためにどんどん英語で発言するという環境が、「英語を正しく使わなければならない」というネガティブ要素を取り除くのに効果があったと思います。



## グローバルインターンシップ

法経学部法学科

### 渡辺 圭祐 さん (3年次履修)

派遣先 インドネシア(株式会社エルトナ(不動産業))

期間 6週間

異なる文化・宗教の人々と関わることで、相手を理解し尊重しつつ、自分の意見を伝えていくことの難しさや大切さを実感しました。実務にも携わり、自分に足りない能力を発見し、深く将来の仕事について考えさせられる収穫の多い経験となりました。



## さまざまな留学プログラム

留学者数**539名**(平成25年度) 国立大学**3年連続堂々1位!!**

### 長期休暇期間中: 数日~数カ月

- 1 グローバル・フィールド・ワーク (BOOT) ... スーパーグローバル大学事業推進事務局  
アジアのトップ大学で英語を学び、かつ現地語学習やフィールドトリップを通じた体験学習を行う、海外ファーストステップとしておすすめのプログラム
- 2 海外語学研修プログラム ... 全学教育センター  
夏季休業や春季休業の1カ月程度の間、英語などの外国語を学び、現地の自然、歴史、社会に触れる、語学力の向上と異文化体験が中心のプログラム
- 3 グローバル・スタディ・プログラム (GSP) ... 全学教育センター  
海外協定大学の学生とワークショップ形式でアクティブに学ぶ協働学習プログラム
- 4 グローバルインターンシップ ... スーパーグローバル大学事業推進事務局
- 5 グローバルボランティア ... スーパーグローバル大学事業推進事務局  
国内外にあるグローバル企業での就業体験や、NPO、施設、国際機関などでのボランティア活動
- 6 協定校主催短期プログラム ... 各学部・研究科等  
交換留学生として協定校へ派遣されるプログラム

### 学期期間中: 数日~数カ月

- 7 ツインクルプログラム ... ツインクル・オフィス  
教育学研究科と他研究科の学生がペアを組んでASEAN諸国の小中高校で授業を行うプログラム
- 8 ワークショップ・共同研究 ... 各学部・研究科等

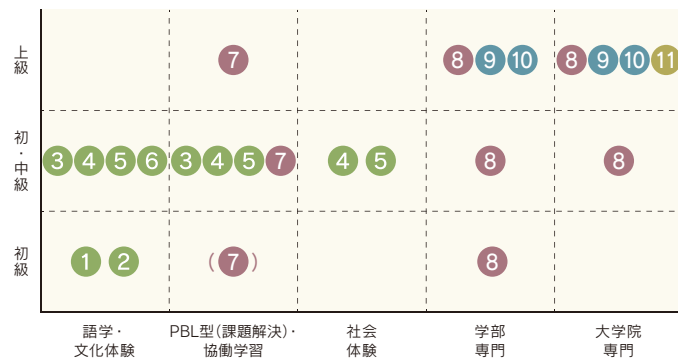
### 数カ月~1年

- 9 千葉大学海外派遣留学プログラム ... 海外留学支援室  
200以上の海外学生交流協定校との交換留学を行うプログラム。派遣留学生は、学内選考を経て推薦され、留学先の大学で取得した単位は千葉大学開校科目として単位認定を申請することが可能。
- 10 部局間派遣留学 ... 各学部・研究科等

### 1年以上

- 11 ダブルディグリープログラム ... 各学部・研究科等  
千葉大学と海外の協定校の両方で学び、修了時に両方の大学から学位が取得できるプログラム

参考: 語学レベル別・分野別留学プログラム分布図



## skipwise グローバル人材育成プログラム "skipwise"

学生が将来グローバル人材として活躍できるよう、手厚くサポート!

- Skip&skip**  
飛び入学や早期卒業を駆使して学びの時間を広げる
- Knowledge stock**  
アクティブ・ラーニングを活用した第二の教養教育プログラム、**国際日本学**
- International support**  
イングリッシュハウスの活用、コミュニケーション英語クラスの開講、海外留学情報の提供などの支援
- Professional experience**  
国際的なインターンシップやボランティアプログラムを用意

### 国際日本学とは?

普遍教育(一般教養)科目と専門教育科目の一部から構成され、指定の単位数を修得すると、卒業・修了時に修了証書が取得できます。



最新情報は公式サイトをCheck!





## イングリッシュ・ハウス

平成24年12月に総合学生支援センター内にオープンした「イングリッシュ・ハウス」は、『くつろぐ、英語を話す、英語を学ぶ』をコンセプトに、学生たちが気軽に英語に親しめる空間です。



# 特集 千葉大学でアクティブに学ぼう!

千葉大学には、学生の皆さんが自由な発想で学べる、アイデアにあふれたさまざまな施設があります。その代表的な存在が「附属図書館／アカデミック・リンク・センター」と「イングリッシュ・ハウス」です。ここでは両施設を活用するためのヒントをご紹介します。



## 個別レッスン

イングリッシュ・サポート・センターの講師があなたのニーズをサポートします。



## English lounge

イングリッシュ ラウンジ

英語でおしゃべりを楽しむラウンジです。お昼休みにランチを食べながら英会話を楽しんだり、英語のコンテンツ(テレビ、雑誌、マンガ)にも触られます。

## Discussion Class

ディスカッション クラス

毎週決まったトピックについて英語でディスカッションしながら英語力を高めます。



## Cooking Class

クッキング クラス

チリコンカンやチョコレートブラウニー、スペイン風オムレツなど、料理をしながら英会話を楽しみます。



## IELTS Class

アイエルツ クラス

IELTS テストの目標スコアを獲得するための学生支援を行う教室。TOEFL、TOEICのクラスもあります。



## Event

イングリッシュ・ハウスでは、英語に親しむだけでなく英語圏の文化にも触れる活動を行っており、次のようなイベントを行っています。

### 海外経験報告会



### Halloween Party ハロウィン パーティ



### Christmas Party クリスマス パーティ



## 附属図書館／アカデミック・リンク・センター

「生涯学び続ける基礎的な能力」「知識活用能力」を持つ『考える学生』を育成するために生まれた、新しいスタイルの学習空間です。多彩で豊富なコンテンツと人的サポートで、教育・学習を支援します。



## 電子ブック

2万冊を超える電子ブックを利用できます。自宅など学外からの閲覧も可能です。



## アクティブ・ラーニング・スペース

自由に対話しながら学習できる空間です。



## 静寂閲覧室 <L棟2,3,4階>

静かに集中して学習したい人のための落ち着いた学習スペースです。



## 調べ物相談 (レファレンス)

<N棟2階>

資料や文献の探し方、データベースの使い方を図書館員が支援します。

## 1210 あかりんアワー

<N棟1階>

授業期間の毎週火・金曜開催のイベントです。先生方の研究やキャンパスライフ入門ほか、さまざまなテーマのお話を気軽に聞くことができます。



## ALSA

ALSA (アルサ) とは、在学生から公募された学生スタッフです。それぞれの役割に従い、以下の支援を行っています。

### ALSA-LS (学習支援) <N棟2階>

各分野を専門とする大学院生が、数学、物理、化学、文系領域、レポートの書き方等の学習相談に対応します。



### ALSA-TT (技術支援) <N棟3階>

PCサポートデスクで、パソコンの使い方やMoodle®の相談などに対応します。



※Webを通じて利用する授業サポートシステム

### ALSA-GS (図書館に関する全般的な支援)

図書館に返却された資料を本棚に戻す作業や図書館ツアーガイドのほか、図書館の学習環境を向上させるさまざまな企画の提案・運営を行います。



学生が主体となって活躍する、千葉大学独自の団体も数多く存在しています。多様な個性を持った仲間との活動を通し、多くの事を学べるのも、総合大学である千葉大学ならではの。今回は「環境ISO学生委員会」、「ふれあいの環」5団体をご紹介します。

# 総合学生支援センター「ふれあいの環」

興味のある方は、総合学生支援センターまで来てください。

## 学生支援を通して 人とふれあい 自分を広げていく



ふれあいの環とは学生が学生を支援するピアサポート活動を行う5つの団体により組織されています。各団体はそれぞれ、学生ボランティア支援、学生コミュニティ支援、聴覚障害学生支援、留学生支援、学生キャリア支援を行っています。学生と学生、学生と教職員が相互にふれあい、イベントなどを通じて総合的人間力をゆっくりと身につけていくことが目的です。各団体の活動だけでなく、その枠を超えた総合的な活動を展開しています。

- 年間活動**
- 5団体合同の活動**
    - 災害ボランティアツアー
    - 富岡小学校運動会支援 など
  - ボランティア支援センター学生スタッフ**
    - ボランティア勉強会
    - ちばシティサバイバルキャンプ など
  - 学生コミュニティ支援団体ピア**
    - カタリヘカフェ
    - 新入生相談会 など
- CISG(千葉大学国際学生会)**
- Universal Festival
  - Welcome Party など
- ノートテイク会**
- 聴覚障害学生の受講補佐活動
  - PEP-Netシンポジウム参加 など
- CAREER PORT**
- キャリア座談会
  - キャリアデザインラボ など

## 富岡小学校支援

ふれあいの環では東北大地震で被災した福島県富岡町立小中学校に対して継続的な支援を行っています。富岡町民は原発事故の影響で現在もなお町外への避難を余儀なくされている状況です。避難生活の中で人との関わりが少ない子ども達の心のケア・将来への希望やコミュニケーション能力の育成を目的とし、継続的・多面的な交流活動を企画運営しています。昨年度は小中学校合同運動会と、冬の体験教室・豆まき集会の支援を行いました。



富岡小学校豆まき行事 ▶ 学生が節分の鬼役を担当  
富岡幼小中合同運動会 ▶ 玉入れの補助をしています



家屋の清掃作業の様子 ▶ 家具を運び出しています  
同じく家屋清掃作業の様子 ▶ 廃棄物の分別を行いました

## 災害ボランティアツアー

毎年夏には、千葉大学ボランティアツアーを学生主体で企画運営しています。自然災害のボランティアはあらゆるボランティア活動の基本であり、社会奉仕の精神を養う第一歩です。本企画は、千葉大学として被災地に貢献するだけでなく、学生の社会への関心の向上及び奉仕の精神の涵養なども主な目的としています。昨年度は学生と教職員を募り、福島県南相馬市において2日間のボランティア活動(被災家屋の片付けなど)を行いました。

# 環境ISO学生委員会

## みんなで楽しく真面目に 環境活動を実践 しかも単位と資格がもらえる!



千葉大学では2004年度に環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001を取得。環境ISO学生委員会は、学生主体で大学の環境マネジメントを行う、全国でも最先端の取り組みを行っています。活動は「環境マネジメントシステム実習」という授業の単位になるほか、3年生になると「環境エネルギーマネジメント実務士」という学長認定の資格が授与されます。また、NPO法人としても活動しているので、環境知識だけではなくさまざまな実務経験や法人運営の経験を積むことができます。

**ただいま仲間を募集中。**  
日頃の活動以外も合宿をしたり、スポーツ大会をしたり、楽しいことたくさん!他のサークルとの掛け持ちもOKなので、興味のある方は、「環境マネジメントシステム実習」の講義(火曜6限@総合校舎3-11)に来てください。  
ホームページ <http://env.chiba-univ.net/>  
Twitterアカウント @chibaIso



幼稚園で環境教育イベントを開催 ▶  
ゴーヤの緑のカーテンで省エネ

## 環境に関する 幅広い活動を実施中!

環境ISO学生委員会には約150名が所属し、さまざまな班に分かれて、幅広い活動を行っています。大学の省エネ・ごみ分別の啓発活動や、緑のカーテン作り・落ち葉の堆肥化・植樹山山保全活動・コミュニティガーデンづくりなども行います。そのほかにも、生協で販売するエコグッズを製作したり、幼稚園・小中学校に出向いて環境教育を行ったりしています。

## 監査員や講師も経験! 環境マネジメントにも 深く関与!

大学がISOを運用するのに必要な内部監査では学生委員が監査員として研究室等の監査を行います。また、研修の講師を行ったり、大学の環境報告書を作成するなど、他のサークルでは味わえない経験もできちゃいます。



内部監査で学生が研究室の監査を行う様子  
環境意識啓発のイベントを開催 ▶

## 千葉大生による広報員、 キャンパスツアーガイド

INFORMATION



キャンパスツアーガイドのイメージ  
入試課入試広報 dfc2181@office.chiba-u.jp

千葉大学では、在学生に、帰省時などに母校を訪問して大学の紹介を行ってもらう大学広報員活動を例年実施しています。平成28年度からは新たにキャンパスツアーガイド（仮称）を実施し、主に夏時期に見学に来る高校生や保護者を対象に、西千葉キャンパス内を案内してもらいます。学生目線による紹介は評判がよく、学生本人にとっても、就職活動時のキャリア教育として役立ちます。興味のある方は、入試課入試広報係にお問い合わせください。

## 世界で活躍する帰国留学生 によるシンポジウムを開催

EVENT



徳久学長（中央）、新倉教授（左端）と講演者であるかつての千葉大学留学生

1月20日、「世界で活躍する帰国留学生に学ぶ世界の研究と教育」をテーマに、現在それぞれ分野で活躍している帰国留学生を迎えシンポジウムを開催しました。今年度で第5回目を迎える今回は、ネパール、フィリピン、インドネシア、ドイツ、カンボジアの5カ国からの卒業生を迎えました。千葉大学で学び、研究した経験がその後世界でどのように活かされているのか、現在取り組んでいる研究や教育について具体的な事例を交えての報告があり、今後の連携を考える有意義な機会となりました。

## 第6回 日本学術振興会 育志賞を受賞

AWARD



左から伊藤教授、平山さん、松元理事

千葉大学大学院工学研究科人工システム科学専攻博士後期課程2年の平山竜士さん（研究テーマ「光制御で超高精細・高解像度を表現するポリリウムディスプレイの創出」）が第6回日本学術振興会育志賞を受賞しました。同賞は若手研究者を支援するため、天皇陛下から即位20年にあたり贈られた御下賜金をもとに創設されたものです。この度、平山さんは国内から推薦された候補者150名のうちの18名に選出され、千葉大学からは昨年度に引き続き2人目の受賞となります。

## ロシア人文大学内に 「千葉大学日本センター」を オープン

INFORMATION



開所式の様子

千葉大学は、ロシアトップ大学の一つであるロシア人文大学内に、「千葉大学日本センター」をオープンし、1月22日に、本学渡邊理事とロシア人文大学ウエーラ・イヴァーノフナサポートキナ副学長出席のもと開所式を行いました。センターでは千葉大学の客員研究員がスタッフとして千葉大学への留学相談、日本語授業を行うほか、日本人学生と協力した日本文化イベントの企画等を予定しています。本学はかねてよりロシアとの国際交流に強いパイプを有しており、今後も更なる交流の拡大が期待されています。

## 起業家という進路

OBOG MESSAGE



虎岩 雅明氏  
千葉大学大学院自然科学研究科修了  
株式会社トライワープ 代表取締役  
千葉大学ジェネラルサポーター

「正解の道を探らず人生ではなく、いま自分で選んだ道を正解にしていく人生にしよう」  
学生時代、就職活動がしつこりなくて、悩みに悩んでいた私が、就活をやめて、起業家として生きることを決断した時の自分の覚悟の言葉です。「いつ起業するの？」「今でしょ！」の決意を後押ししてくれました。大学院在学中の2004年に「大学生がパソコンを教えることを通して地域での世代間交流のきっかけを創出」ことを目指したパソコンライフサポート事業を最初に手がけました。2000枚のチラシを配り、集まった10人の千葉大生たちと立ち上げた事業です。これまでに、600人以上の学生スタッフが携わり、5万人以上のお客様をサポートしてきました。今では、WEBプロデュース事業、フューチャープロダクト事業なども展開しています。  
今の目標は、世界中でできるだけ多くの人が利用できるサービスを開発し、人類の暮らしが少しでも豊かになるきっかけを担えるような会社にしていくことです。  
自分だけの、しかも一度きりの人生です。で、今やりたいことから目をそらさず、できるだけ挑戦して、できるだけ壁を乗り越えて、夢見たことを実現できる大人になつてください。

## ケータイ・インターネット 安全教室フォーラム

EVENT



それぞれのブースにて熱心に話を聞く参加者

2月27日、千葉大学教育学部にて「ケータイ・インターネット安全教室フォーラム」が開催されました。授業実践開発研究室（藤川大祐教授）による、子どものネットいじめやトラブルを防ぐ取り組みの「見本市」とも言えるイベントであり、交流会では参加企業、団体や教育関係者らが活発に情報交換を行いました。また、活動報告会では、柏市中学生によるネットトラブル防止会議の取り組みなどについても紹介されました。

## 医療スタッフの身体の 負担を軽減「歩ける椅子 -archelis-」を共同開発

INNOVATION



archelis(アルケリス)

千葉大学フロンティア医学センターの川平洋准教授、中村亮一准教授は、株式会社ニットー、西村拓紀デザイン株式会社、日本高分子技術株式会社との協働により世界初の医療スタッフ用ウェアラブルチェア「archelis」を開発しました。多くの外科手術が立つままの状態で行われる中、腰部から下半身の負担を軽減させる目的で開発されたもので、2016年夏頃の製品化を目指して改良試作と評価が進められています。

## 学生・若手研究者のチャレンジを支え、未来を育てる 千葉大学 SEEDS 基金

千葉大学 SEEDS 基金は、ご寄附のもとに、学生の生活環境の整備、教育研究環境の整備、学生への奨学金の支援、国際交流事業の推進などを行っています。  
次世代を担う若者がより良いキャンパスライフを送れるよう、ご支援・ご協力をお願いいたします。



奨学金・支援金の給付  
東日本大震災で被災した学生などに経済的支援を行いました



ホームページから寄附の申込みができます

詳しくは → <http://kikin.chiba-u.ac.jp>

## 「解体新書」をはじめとする 貴重な「古医書コレクション」

もっと  
知りたい  
千葉大学



杉田玄白等による「解体新書」(1774年発刊)

附属図書館玄白館には、戦前戦後を通じて集められた貴重な「古医書コレクション」5500点が収められています。その中の一冊に、1774年に発刊された「解体新書」があります。同書は、杉田玄白たちがオランダ語の原典を苦心の末、翻訳した西洋医学紹介のための記念碑的作品で、高校の歴史教科書にも載せられています。この古医書群は、図書館のウェブサイトで写真版として閲覧することができ、国際教育センター見城悦也

## 平成27年度 千葉大学学生参画会議を 開催

INFORMATION



感想を述べる徳久学長

1月26日、アカデミック・リンク・センターにて千葉大学学生参画会議を開催しました。今年度は教職員・学生52名が集まり「千葉大学の教育に関するブランドの確立」をテーマに、学長等大学執行部と学生が活発な意見交換を行う有意義な機会となりました。徳久学長からは「将来社会に出て千葉大学をアピールしてほしい」との感想が聞かれ、引き続きより良い学生参画の在り方を検討しつつ、本学における教育改革に関する取り組みを進めることとしていきます。

## 千葉大学病院で 「サロンコンサート」を開催

EVENT



みのはな音楽部によるサロンコンサートの様子

2月16日、千葉大学病院外来診療棟2階ラウンジにて、みのはな音楽部によるサロンコンサートが開催されました。千葉大学病院では月に数回、プロの演奏家や学生サークルなどのボランティアによる演奏会が催されており、この日は「ラプソディー・イン・ブルー」や「愛の挨拶」風笛などが演奏され、集まった患者さんからは「患者さんにはリラックスしながら耳を傾けていました。」



# I N D E X



02



04

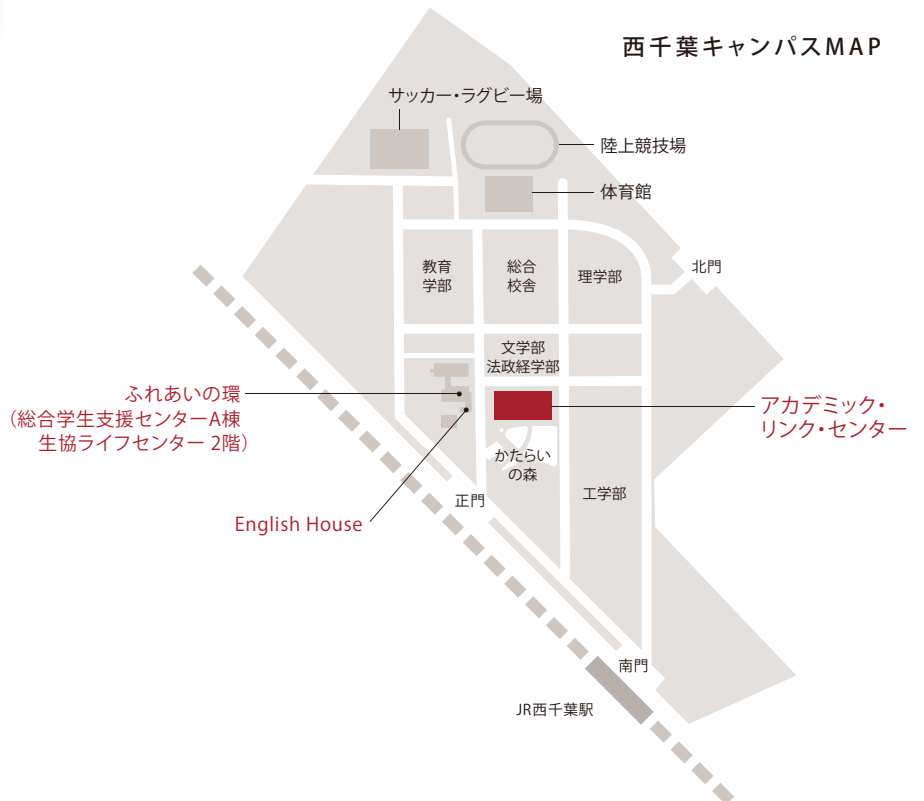
02 特集 徳久剛史学長インタビュー  
徳久学長が語る、これからの「新しい千葉大学」

04 特集 留学を経験した先輩の声  
先輩から、留学体験談を交えて  
アドバイスをいただきました。

06 千葉大学でアクティブに学ぼう！  
千葉大イチオシの学びの施設・団体を紹介！

10 TOPICS / もっと知りたい千葉大学

## 西千葉キャンパスMAP



【表紙】イングリッシュ・ハウスで開催された「クッキングクラス」の様子